



# チームしが県議団

—会派ニュース—

2023年1月／第33号

#33

発行責任者／今江 政彦  
編集責任者／大橋 通伸

チームしが県議団

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁本館2階

TEL / 077-528-4035

FAX / 077-510-6520

MAIL / info@knw.jp

## 11月定例会議 代表質問

**滋賀県議会11月定例会議における我が会派「チームしが県議団」の代表質問(抜粋)をお届けします。本県をとりまく厳しい情勢…恒久平和、気候変動、自然災害、人口減少、経済危機、格差拡大、財政事情など、これらの不安を乗り越え、「未来へと幸せが続く滋賀」を実現するため、時代の要請や県民の声を背に受けて質問しました。当日12月2日は、「チームしが県議団」を代表して、塚本茂樹が登壇しました。**



質問動画



答弁動画

動画も是非ご覧ください



Q メタバースは、インターネット上に存在する「3次元仮想空間」を指します。ユーザーが自身のアバターを操作することで、コミュニケーションを取ったり、ビジネスに使えたりと、今後に期待されています。行政分野におけるメタバース活用の可能性、加えて、今後の取り組みについて見解を伺います。

A 國土交通省では、現実世界をサイバー空間に仮想モデルとして構築し、都市計画、街づくり、防災でのシミュレーションなどの取組を進めており、行政分野においても活用できる可能性があります。現在、國のメタバースの利活用に関する研究会において、ユーザーにとって、より分かりやすく、利用しやすいサービスの実現に向けて、課題の整理が行われています。本県も、メタバースの特性を踏まえながら、どのように活用をしていくのか、しっかりと考えてまいります。

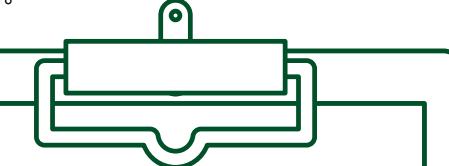
Q 産後1年以内の初産婦の女性の心の状態は、5割以上が産後うつハイリスク者、約3割が育児不安ハイリスク者と言われています。産みたいと思える安全・安心で多様な出産環境を確保するための今後の取り組み、切れ目のない継続的なケアの取り組みについて伺います。

A 人材につきましては、今年度新たに創設いたしました貸付金制度の活用などにより産婦人科医の確保に努めます。また、助産師の役割も含め、地域ごとに、関係者との議論を十分に重ねながら検討を進めます。切れ目のない支援につきましては、各市町の子育て世代包括支援センターにおきまして、妊娠届出時や新生児訪問等の面談を通して、妊娠期から子育て期の状況を把握したうえで、個々の状況に応じた支援プランを策定し、必要な助言や保健指導を実施します。産婦健診につきましては、取組が全県に広げられるよう、県で集合契約を結ぶなど、産後も安心な体制整備に努めてまいります。

Q 原材料費などが上がった分は価格に反映させるのが本来であり、事業者が価格に、かかったコストを適切に反映できる状況をつくることが、経済の好循環に欠かせないと考えます。民間企業の価格転嫁の状況にかかる県の認識と、それが可能となる環境づくりに向けた考えを伺います。

A 県が実施する景況調査によりますと、コスト上昇に対しても「50%以上価格転嫁ができる」と回答した企業の割合は全体の約3割にとどまっておりまして、価格転嫁が進まない理由として、「競合他社との価格競争」でありますとか「値上げ後の売上減少への懸念」などの声をお聞きしているところです。

国による総合的な対策の着実な実施を求めながら、本県いたしましては、引き続き、多様な資金繰り支援や県内消費の喚起、未来を見据えた投資の促進などをしっかりと進め、経済団体とも連携いたしまして、価格転嫁しやすい環境づくりを推進してまいります。



### 代表質問の要旨

- ✓ 滋賀県の行政経営について
- ✓ 文化とスポーツの振興について
- ✓ 琵琶湖と森林への政策について
- ✓ 新型コロナウイルス感染症について
- ✓ 子どもを産み育てる環境の整備について
- ✓ 雇用・経済政策について
- ✓ 観光振興について
- ✓ みどりの食料政策について
- ✓ 教員の働き方改革について
- ✓ 児童生徒の問題行動・不登校について



### 「チームしが県議団」から三日月知事への「提言」

令和5年度の予算編成に向けて、新型コロナ感染拡大や物価高騰で苦しむ県民や事業所、農家など、皆さんのご要望に応えるべく「提言」しました。議会開催中の12月12日。知事室にて。